



スカウト 浄土



The Scout Jōdo

来年、山口県きさらぎ浜で 世界ジャンボリー大会開催

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 東海林 良雲



昨年は、第16回日本ジャンボリー(16NJ)が、第30回アジア

太平洋スカウトジャンボリー(30APRSJ)を兼ねて山口県きさらぎ浜を会場に開催されました。期間中の8月4日には、教宗派を超えた集いを開催して文化も宗教も、生まれ育った環境も違うスカウト達が共に平和を願いました。教宗派に分かれての私たち浄土宗の集いには、浄土宗社会国際局長宮林雄彦上人を導師に法要を厳修し、法話と

励ましの言葉を頂戴しました。小雨が少し降った中でしたが、準備した記念品(チーフリング)が足りなくなるほど浄土宗のスカウトが参加してくれました。準備と会場設営に当たったスカウト・スカウターに協力していただき、お陰様で魔障無く円成することができました。感謝申し上げます。

また、会場内に設置された信仰奨励エリアの浄土宗ブースには、山口教区の皆様にも期間中大変お世話になりました。皆様の物心両面のご支援ご協力が無ければ出来ない事でした。訪ねて来たスカウト達も熱心に浄土宗の教えや信仰についてスタッフから教示を受け木魚念仏をしました。お陰様でスカウト達へ素晴らしい信仰奨励が出来たと思います。

いよいよ来年には同じきさらぎ浜で世界ジャンボリー大会(23WSJ)が開催されます。ここでも浄土宗を紹介するブースが開設される予定です。参加するスカウト、特に外国のスカウトに分かり易い浄土宗の教えを提供すべく準備を進めておりますが、海外での布教に携わっておられた方やその関係の方々のご協力を特に必要としますのでよろしくお願い申し上げます。また、山口教区の方々にも再度ご協力をお願い申し上げます。

周知の如く日本のボーイスカウト数は減少が続いています。世界のスカウトは増加しているのですが、日本は減少しているのです。少子化や種々の社会問題があるのですが、私たちは諦めないで再建の道に取り組んでいます。青少年の社会教育運動の中で、唯一信仰を柱とするスカウト運動をご理解いただき、スカウト倍増にご協力をお願いします。今回五年毎に発行の寺院名鑑にこの運動を実施している寺院の欄を新設していただきました。ご利用・ご協力をお願い申し上げます。

第16回日本ジャンボリーを終えて

浄土宗スカウト16NJ実行委員長

井原 善 昭



れました。

日本ジャンボリーはスカウト運動最大の教育イベント。今回、国内外から、約1万4千人が参加しました。

ご存じのように、スカウト運動は信仰を持つことを奨励しており、スカウティングと信仰は

平成25年

7月31日

(水)から8

月8日(木)、

9日間の日

程で第16回

日本ジャン

ボリー(第

30回アジア

太平洋地域

スカウトジ

ャンボリー)

が山口市阿

知須のきら

ら浜で行わ

誠に深いつながりがあります。

8月2日、いよいよ信仰奨励

プログラムを実施。19の各教団

がパビリオンを設置し、それぞ

れの儀礼や教義を紹介しました。

連日の猛暑の中、浄土宗ブー

スを訪れてくれた多くのスカウ

トたちに、法然上人のみ教えや

お念仏の心

についてお

話をさせて

いただきました

した。この

たびのご縁

が、浄土信

仰へのきつ

かけになっ

てくれるこ

とを心より

願っています。

8月4日

は信仰奨励



の日。早朝、

会場内のア

リーナにお

いて各教宗

派の集いが

行われまし

た。浄土宗

の日曜礼拝

にはおよそ

千人を超え

るスカウト

と指導者が

集まりました。

社会国

際局長宮林

雄彦上人の

激励の言葉、

心温まるご挨拶を

いただき、一同感動いたしてお

ります。

また、地元教区長・新山玄雄

上人、教化団長・見山洋昭上人

も浄土宗サイトに訪問いた

だき、スタッフ一同心を新たにし

ました。

午後からのアリーナシヨウに

は、皇太子殿下より激励の御言

葉を賜り、また安倍首相の訪問

を受け心の興奮を覚えたのは私

だけではないと思います。盛大

な大会となりました。



閉会式の直前まで、浄土宗のサイトを多くのスカウトたちが訪れてくれて、私たちスタッフ一同もその姿に感動させられました。

当会前理事長・顧問 岡本圭

示先生には、日本ジャンボリー

にフルに参加され、全日程にご

奉仕くださり、私どもに身をも

つてあるべき姿をご教示いた

だき、ただただ敬服いたしてお

ります。全国同志の皆様のご協力

ご支援のもと、初期の目的を成

満し、また盛会に終了すること

ができ大変安堵しております。

今後の浄土宗スカウト連合協

議会のますますの発展を祈りな

がらご報告に代えさせていただきます。

きます。



第五十七回 浄土宗スカウト仏教章研修会報告

浄土宗スカウト連合協議会事務局

研修隊長 近藤 秀祐

平成25年3月27日から29日の2泊3日、滋賀県草津市青地町西方寺に於いて浄土宗スカウト仏教章研修会が開催されました。西方寺様は当会理事牧達玄上人のご自坊であり、ボーイスカウト滋賀連盟草津第1団並びにガールスカウト滋賀県連盟第23団の母体寺院で、裏山には新しく整備された野外キャンプ場が広がり、地域の青少年情操教育に深く携わられています。今回は約5年振りに会苑となりました。

今年の研修会は例年になく春の訪れが遅く、寒々とした中でしたが、全国各地より12歳から19歳までの男女35名が志高く集まりました。

短い期間ではありますが、「宗教」とは？「信仰」とは？という、人生を送る中での根本的な「課題」を聞法するなか

で、青少年の誰もが抱く「自分の存在」や「命」について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

また、2日目の夜に帰敬式も行います。慣れない生活にもかかわらず、同じ仲間として同じ研修を受けた一体感の中に、講師、スタッフとの和やかな雰囲気があります。このときばかりは皆真剣です。特に、スカウト達からは、「一生に一度」という思いが強く感じられます。その10代後半のスカウト達が真剣に帰敬式に臨む姿勢と雰囲気にはスタッフ全員、涙が出てきます。あるスカウトの帰敬式の感想文を紹介いたします。

「帰敬式では真つ暗な自分の心の中の葛藤や不安などが仏様のお導きを頂いて、真つ暗でどうすれば良いか不安だった心が明るく照らされた実感がしまし

た。また、自分が進むべき明るく、正しく、仲間と仲良くできる道が指示された気もしました。しかし、仏様に頼りすぎてはいけないなあと思います。それは、仏様に常に守られている事を忘れる事無く、自分が仏教徒である事を忘れることなく、



自分が仏教徒である事を誇りに自分の人生で自分のできる事は一生懸命に取り組む事が目標であり、

スカウトイングの「おきて」にしたいと思えます。最後に、これからも念仏を称え、仏様の導きを受けられるような努力を「お釈迦さま」「法然上人」程はできないが自分に達成感が生まれるようにやっていきたいと思えます。」

「帰敬式はとても厳かでした。私はまだ2日しか研修もしていないのに帰敬式を受けて良いのか、受ける資格があるのかとても不安でした。午後、講師の岡

本先生から帰敬式の心得を聞いたときと、実際の帰敬式を受けた時の自分の心が違いました。「本当に帰敬式をするんだ…。」

仏様のお弟子になるんだ…。」とても感じました。式中に代表スカウトが誓願の文を読んでいる時や、司会の先生が話された一文一句を心に噛み締めて聞きました。班長からロウソクの灯火を頂き、仏前に奉げた時には本当に感動しました。何か迷った時には今日の事を忘れずに思い出したいと思いました。

一生に一度しかできない経験ができたことを真剣に厳かで感激の気持ちで行うことができたことがとても嬉しく思います。これからは仏・法・僧の三宝をしつかりと心に持ち、スカウトイングをしたいと思えます。本当に素晴らしい経験ができたかったと思えます。」

スタッフとして十代後半のスカウト達と過ごせることに感激し、さらにこの研修会に参加するスカウトが増え、若い「仏教徒」となり「お念仏」を抛り所とする仲間が増えることを心より望み、報告とします。

栄 誉 を 讃 え ま し ょ う

浄土宗仏教章授与スカウト (平成25年3月15日～平成26年1月24日)

平成25年2月6日作成

浄土宗承認	氏 名	団		寺院名	教導職	浄土宗承認	氏 名	団		寺院名	教導職
H25. 3. 15	川口 正	四條畷	1	正 縁 寺	小林 常晋	H25.10.18	篠原あや佳	木更津	2	選 擇 寺	山本 恵司
H25. 3. 21	千葉 隆史	長 野	18	真 光 寺	近藤 秀祐	H25.10.18	船田 瑞樹	木更津	2	選 擇 寺	山本 恵司
H25. 3. 21	若月 幸樹	長 野	1	真 光 寺	近藤 秀祐	H25.10.18	齋藤 舞華	木更津	2	選 擇 寺	山本 恵司
H25. 3. 21	三井 稜河	長 野	15	真 光 寺	近藤 秀祐	H25.10.18	庄山 拓磨	木更津	2	選 擇 寺	山本 恵司
H25. 3. 21	高島 優作	長 野	15	真 光 寺	近藤 秀祐	H25.10.18	佐藤 和臣	千代田	6	正 定 院	福島 教照
H25. 3. 21	小日向冬美	長 野	15	真 光 寺	近藤 秀祐	H25.10.18	原田 海渡	千代田	6	正 定 院	福島 教照
H25. 4. 19	中島 誠人	西 宮	27	極 楽 寺	螺澤 章弘	H25.10.23	小森 鑑哲	草 津	17	西 方 寺	牧 達玄
H25. 6. 17	近藤 拓海	八王子	5	察 順 院	木村 良成	H25.10.23	山元 清悟	草 津	17	西 方 寺	牧 達玄
H25. 6. 17	秋本 祐	八王子	5	察 順 院	木村 良成	H25.11. 5	平田 朋大	きづがわ	1	浄 福 寺	館 和典
H25. 6. 17	岸本 昌樹	八王子	5	察 順 院	木村 良成	H25.11.11	関根 諒	目 黒	1	祐 天 寺	林 秀峰
H25. 6. 17	小暮 佑樹	八王子	5	察 順 院	木村 良成	H25.11.26	段木 窓伽	荒 川	1	清 光 寺	岡本 圭示
H25. 6. 28	宮城谷浩平	豊 川	4	極 楽 寺	江本 豊久	H25.11.26	関口 溪樹	荒 川	1	清 光 寺	岡本 圭示
H25. 9. 19	杉崎 萌	荒 川	6	仰 願 寺	當麻 祐紀	H25.11.28	小谷 紗代	尼 崎	14	西 運 寺	田野島孝道
H25.10. 1	佐々木貴也	豊 田	9	弘 誓 院	秋田 文雄	H26. 1. 15	水野 雄樹	吹 田	9	法 泉 院	鷲飼 良宣
H25.10.18	宮澤 理皇	飯 田	1	柏 心 寺	安静 俊祐	H26. 1. 22	伊崎 礼人	板 橋	3	清 光 寺	岡本 圭示
H25.10.18	小山 紘平	岸和田	5	浄 福 寺	館 和典	H26. 1. 24	小口 宗奨	松 本	2	真 光 寺	近藤 秀祐
H25.10.18	内田 早紀	八 代	5	盛 光 寺	勝部 秀信						

第四十回 浄土宗スカウト指導者研修会

浄土宗スカウト連合協議会事務局

林 秀峰

本年度の指導者研修会は、当
会理事である細井俊道上人にご
尽力いただき、香川県高松市の
法然寺様にて平成25年5月26日
から27日の1泊2日で企画開催
されました。

この研修会の一端をご紹介します。



「仏生山来迎院法然寺」

今回の研修
会場となった
法然寺様は法
然上人25霊場
の第2番目に
あたります。

境内に入る
とすぐに2年前に完成したばかりの五重塔が聳え立っています。

法然上人が讃岐にご流罪に
なった際、主にお住みになった
生福寺が年を経て荒廃していた
のを松平頼重公（徳川家康の孫

であり、徳川光圀公の実兄）が
今の地に引き移し再興して代々
の菩提寺とされたのが法然寺で
す。建立以後、寄進された寺宝
が多いそうですが、中でも「讃
岐の寝釈迦」としてよく知られ
ているのが涅槃堂にご安置され
ている釈迦涅槃像です。

お釈迦様が入滅される光景を
非常にリアルに再現しているも
のでこのお堂に入るとまるで私
たち自身がご入滅の瞬間に立ち
会っているかのような心持ちに
なります。

「法然上人のご遺跡巡り」

法然上人がご流罪になられて
いた期間は諸説ありますが10か
月から1年の間だそうです。そ
の間、様々な場所でも布教活動に
ご尽力され現在もそのご遺跡が
遺されています。

細井上人にご案内をいただ

き、ご遺跡を訪れることができ
ました。

最初に浄土宗西念寺様を訪ね
ました。西念寺住職の瀧口上人
から本堂でお話を聞かせていた
だいた後、本堂にある法然上人
水鏡の御影を拝見しました。



その後、法然堂という法然上
人の御廟をお参りさせていただきました
きました。この御廟に納められ
ている御遺骨は弟子の湛空上人
が四国に来た際、請来されたも
のであると伝えられているそう
です。また、真言宗総本山善通
寺の法然上人の爪と髪の毛が納
められていると伝えられている
逆修塔など、様々なご遺跡を訪れ



ることができ
ました。
法然上人
がご流罪に
なられた後
も、実際に

この地で念仏の布教にご尽力さ
れていたと思うと非常に感慨深
いものがありました。

「うどん作り体験」

法然寺様には境内に竜雲とい
ううどん屋さんがあり、境内の
中で製麺も行っているとのこと
で作業工程を見学・体験させて
いただくことができました。うど
ん粉を足で踏んで引き伸ばす作
業等、初めての体験でしたので
非常に新鮮で興味深いものがあ
りました。



研修会終
了後、竜雲
様でうどん
をおいしく
いただきました。

今回は貴重な経験のできた研
修会でした。

今回の研修で得たものを当会
のさらなる発展に生かせるよう
これからもスカウト活動に尽力
していきたいと思えます。

※法然寺様におかれましては、平成26
年1月13日に火災が発生し二尊堂を
全焼されました。心よりお見舞い申
し上げます。

第16回日本ジャンボリー
無事終了！
関係者の皆さまお疲れさま！

2ページに報告があるように、今回の日本ジャンボリーは山口教区の全面的なバックアップにより無事に終了いたしました。山口教区瑞相寺井原善昭上人を実行委員長に、浄慶院の桑原一真上人とタッグを組んでいただき、岡本圭示前理事長の協力を得て、盆月の9日間という長期間にわたり浄土宗のブースの運営ならびに4日の宗教儀礼の運営をしていただきました。

間際まで関係者の車輛の通行のことなど主催者側からの情報が徹底されずにやきもきされたと思いますが、大きなトラブルもなく、無事に終了しましたこと、事務局からお礼申し上げます。

この経験を平成27年開催の世界ジャンボリーにつなげるよう努力してまいります。理事長の話にもありますように、海外から来るスカウトにどれだけアピールできるか、皆さまのご協力を切にお願いいたします。

浄土宗スカウト本尊
阿弥陀如来を請来！

日本ジャンボリーの浄土宗儀礼などで使用する本尊阿弥陀如来像は、これまで開催場所でお借りしていましたが、天候の急変など外で開催することを考え、風雨に強い素材で本尊様を新たに製作しました。

大きなロールスクリーンへ印刷した山越の阿弥陀如来様です。ようやく浄土宗スカウトの本尊様をお迎えすることができましたので、報告します。

浄土宗とスカウティング

平成25年6月24日に浄土宗総合研究所の要請に答え、巖谷事務局長が「浄土宗とスカウティング」という題でなぜ浄土宗がスカウティングに取り組みかをレクチャーしました。

信仰奨励パネルシアター
のご活用を！

貸出用セットがありますので、事務局へお問い合わせください。

今年度 主な行事予定

■総会開催のお知らせ

平成26年度年次総会は左記のとおり開催いたします。どうぞ、お練り合わせの上ご出席をお願いいたします。

日時 平成26年5月19日(月)
14時～16時

場所 宗務庁東京第1会議室

■平成26年度指導者研修会

平成26年度は、日本ジャンボリーと世界ジャンボリーの谷間で、仏教ガールスカウト・仏教スカウト研修会と併修といたします。真宗大谷派が担当しますので、奮ってご参加ください。詳細は未定です。

■第58回仏教章研修会

第58回仏教章研修会は、京都での開催を予定しています。定員は40名です。

日程 平成27年3月27日(金)～
29日(日)

場所 大本山清浄華院(予定)

総会での審議で変更することがあります。

地元開催を要望される方は必ず総会にご出席をお願いいたします。

平成25年度広報掲載報告

◆宗報

- ・4月号(指導者研修会開催案内)
- ・6月号(仏教章研修会報告)
- ・8月号(総会報告)

・2月号(仏教章研修会開催案内、仏教章事前研修のお願い)

◆お知らせチラシ

・宗報1月号に同封発行

◆メールニュース

・No.31を配信

※メールニュースが配信できない状態があり、ご迷惑をお掛けしました。現在は復旧しています。メールニュースの配信および会員向けメルリングリストに登録希望の方は、事務局まで。

スカウト浄土

(第二十三号)

■発行/平成二十六年三月二十日
東京都港区芝公園四一七一四
浄土宗宗務庁社会国際局内
浄土宗スカウト連合協議会

■URL: <http://scout.jodo.or.jp>

■e-mail: scout-info@jodo.or.jp

■編集者/巖谷勝正

■印刷/小竹印刷(株)